

かんのんどう

観音堂



■ 種別

有形文化財

建造物

■ 指定年月日

昭和50年2月19日

■ 所在地

こうしょういん
迎攝院

(番匠免1-127-1)

観音堂とは、観音菩薩を安置するお堂のこと
で、迎攝院の観音堂は、室町時代後期～江戸時代
初期に建立されたと推定される市内最古の建物
です。天井には菊花の彩色画や龍の絵が組み込
まれています。

『しんへんむさしふどきこう新編武蔵風土記稿』にはげんな元和8年（1622年）
に再建されたと記されています。また、この建物
に使用されている木材（けやき、松、ひのき、さ
いかち等）は、すべてこの土地に育った樹木であ
るといわれています。